

【無線着火システム】 ご使用にあたっての禁止及び注意事項

● 禁止事項

- ・ 親機、子機ともに水がからないようにして下さい。(お花への霧吹きも含む)
- ・ 親機、子機ともに水を含んだオアシスに埋めたり水中に沈めたりしないで下さい。
- ・ 電波チェックを行う際は、必ず親機がハイフンの状態で行って下さい。
- ・ 同日に複数会場で実演がある場合、子機をONにしている時間が他の会場の実演時間と重ならないようにしてください。いずれかの会場で実演したものが、ONになっていた他の会場の子機に誤着火する場合があります。
- ・ 親機、子機ともにレンタル商品ですのでお客様のお持ち帰りはできません。
- ・ 電池を交換する際マンガン電池はご使用できません。アルカリ電池をご使用ください。
- ・ 機器の内部には決して触らないでください。
- ・ 機器の5度以下での長時間保管及び使用はしないでください。機能が低下して着火しません。

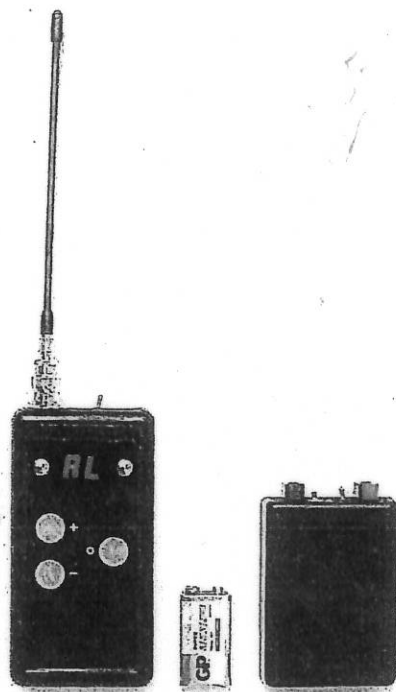
● 注意事項

- ・ 一斉点火をする場合、親機1台に対して子機は最大16台まで可能です。
- ・ 親機2台の使用で一斉点火をする場合、親機と親機の間は2、3秒のタイムラグが必要です。
- ・ 場合により子機の番号が重複していたり飛んでいたりがございますが、一斉点火には問題ありません。
- ・ ご注文の際特にご指定のない場合は、一斉点火でご使用するものと判断させていただきます。
- ・ 順次点火をする場合、1台の親機に対しての子機の使用可能台数は、新型無線システムは15台まで、旧型無線システムは16台までです。
- ・ 順次点火やイレギュラーな順次点火(2台点火→2台点火→残り全部点火等)でのご使用の場合は、事前にご連絡ください。

- ・ 子機を鉄や銅版の上に置きますと電波が入りにくくなり着火しない恐れがあります。
- ・ 電圧不足による不着火軽減のため、また不意な違法電波やノイズにより誤作動を防止するため、子機のスイッチは実演の直前のお入れ下さい。
- ・ 同じ会場内であっても、電波及びノイズの状況は変化しております。万が一不着火が起きました際はチャッカマン等で直接点火してください。
- ・ 機器ご返却の際は必ず電源をOFFにして下さい。ONのままご返却されますと長時間の通電により機器が破損してしまう場合がございます。
(上記の項目を含め機械に破損が生じた場合は実費をご請求させていただく場合がございますのでご注意下さい)
- ・ ご返却日は必ずお守り下さい。(ご返却日によっては延滞料金をご請求させていただくこともございますのでご注意下さい。)

無線点火用送受信装置

取扱説明書 (イグナイター)



アデック

製品仕様 (イグナイター m s)

親機送信部 (1セット時1台)

アンテナ: 標準アンテナ
出力: 0dbm 以下
発信方式: クリスタル制御 (PLL)
変調方式: FSK変調
グループ: グループ任意設定
(1グループにつき、子機16アドレス)
点火方式: 任意アドレス点火及びびー斉点火機能搭載
電圧低下: 表示フラッシング
電源: 9v (006P) アルカリ電池使用 (必)
大きさ: 70(W) x 135(H) x 24(D)
注) アンテナ、突起部除く
重量: 115g (電池、アンテナを除く)

子機受信部 (1セット時16台)

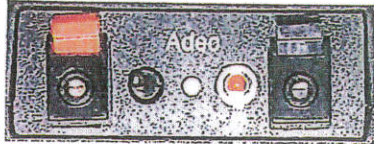
アンテナ: ケース内部+点火用リード線併用
受信方式: スーパーヘテロダイン方式 (PLL)
グループ: グループ任意設定
アドレス: 16アドレス任意設定 (1~16台の子機)
電圧検査: SWにて確認 (擬似負荷状態)
電源: 9v (006P) アルカリ電池使用 (必)
大きさ: 68(W) x 90(H) x 28(D)
注) アンテナ、突起部除く
重量: 88g (電池を除く)

(注) 任意でのグループ設定の際は、子機ナンバー (アドレス) が確実に動作するか充分確認した上で運用して下さい。

アデック

○ 操作方法

1. バッテリチェック



子機の電源スイッチはオフのまま、操作パネルにある赤色の押しボタンスイッチを1～2秒間押し、赤色LEDの点灯輝度を確認します。

赤色LEDの輝度が暗かったり、点灯しない場合は電池の交換が必要です。

このスイッチを押すと電流が流れ、必要以上に長く押すと、電池の消耗を早めますので、注意して確認して下さい。

花火を接続していても点火はしませんが、注意事項を守った上にてご使用下さい。

花火の種類により点火の状況が異なりますので、赤色LEDの輝度に注意し、十分テストして感覚を得て下さい。

2. 子機（受信側）の端子に使用する花火のリード線を接続し、子機の電源スイッチを入れます。（点火物の上に顔を近づけない事）通常は、「緑色」のLEDが点灯します。

3. 親機（送信機側）の電源スイッチをいれると下記の表示となります。
この状態でスタートスイッチ（○）を押すと全子機のLED（赤色）が3秒間点灯します。

花火が接続されていても点火はしませんので、確認用として御使用下さい。



- a) 親機の (+) ボタンを押す度にカウントアップし、下記の表示に変わります。
この表示ナンバーが、子機のナンバー (アドレス: 1~16) となります。
尚、(-) ボタンを押すとカウントダウンします。



- b) 表示ナンバーの数字で、スタートボタンを押すと、表示ナンバーの子機の番号 (アドレス) が選択されます
子機側の表示 LED (緑色) は、「赤色」に変化と同時に点火します。
- c) 花火が接続されている状況で不用意にスタートボタンを押さないで下さい。
- d) 最後に (AL) が表示されます。この表示は、子機ナンバー: 1~16 まで全て同時点火させる表示となります。
全子機側の表示 LED は、一斉に「赤色」表示します。
- 注) 表示されていても、スタートボタン (○) を押さない限り点火しません。
(点火の際は、子機の周囲を十分に注意した上で行って下さい。)
点火後は、子機の表示の「赤色」LED は点滅になり、再点火は行いません。
子機を再使用する場合は、子機の電源を落とし、再度「ON」させて下さい。

* 1 尚、次ページの重要事項を参照して下さい。

* 2 花火のご使用にあたり、「SFマーク」(認定品) を推奨します。



重要事項

○ 注意事項

- a) 本装置は、ノイズによる誤作動防止の対策を強化していますが、子機（受信機側）の移動や花火の接続の際は、電源スイッチを切った状態で行ってください。
- b) 子機の長時間での使用や、短時間での使用において、使用した合計の使用時間で、計算して下さい。目安として、点火回数を3回以内で、合計使用時間を5～6時間以内とし、新しいアルカリ電池に交換して下さい。
（電池メーカーによって、多少のばらつきがありますので、注意して下さい）
尚、電池のチェックも行い、LED（赤）の輝度に注意して下さい。
（暗い場合は低下しています）
- c) 花火を接続の際、点火口の上には、顔、腕等がかからないよう又、燃えやすいものを置かない様に注意をお願いします。傷害及び災害防止の為。
- d) 点火する花火の周辺に燃えやすいものや、ガス状に発生する物（アルコール、ガソリン、灯油等）が無い事を確認の上御使用下さい。災害防止の為。
- e) 本装置の使用に関して、あくまで玩具用花火（噴出型花火）の使用を前提としておりますので、厳守をお願い致します。又、火薬量15g以上の花火や、発火物でのご使用は、花火（煙火）の使用に関する法律に反する場合がありますので、注意して御使用下さい。尚、本装置は室内用ですので注意が必要です。
- f) 電池の保守で、交換後の電池の電極をテープ等で絶縁してください。
交換後の電池でもパワーがあり、電池同士が接触しますと、かなり発熱します。
最悪時は液漏れか、爆発、火災等の事故が考えられますので注意が必要です。
- g) 本装置は、精密部品で構成されていますので、注意して扱い下さい。
尚、強い振動や落下、指定部所（外部電源）以外の使用や、水難、故意による機器の故障は、補償対象外となります。尚、外部電源の使用は、本機が損傷します。
- h) 親機（送信機側）、子機（受信機側）の電池の仕様は、全てアルカリ電池の仕様です。
他の電池ではパワーが無く、点火しない場合がありますので注意が必要です。
- i) 通常使用を前提とした保障期間は、納入後6ヶ月以内で無償にて修復します。
保障期間内であっても、通常使用外や日本国外での当機使用においての修理は有償となりますのでご注意ください。（送料は別途）
- j) 当機使用に際しての事故や火災等の災害による責任問題及び補償、賠償等は一切負いませんので、ご了承下さい。尚、ご使用の際は了承したとみなします。

アデック

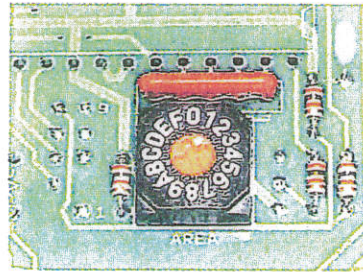
○ 設定方法

1. ネジの取り外し。

- ①親機（送信機側）の取付ネジは、電池カバーを外し四隅にあるネジを取り外します。
- ②子機（受信機側）の取付ネジは裏側4箇所あり、ネジを取り外します。
- ③親機、子機共ケース両側に線材が付いていますので、注意して外して下さい。

2. 親機（送信機側）の設定。

アンテナ端子を上にした状態で基板上的部品が見えますが、「AREA」と書いてある回転スイッチは「0」－「3」が範囲以内ですが子機と連動していますので、初期設定のまま（出荷状態）にして下さい。変更すると通信が出来なくなり、点火しません。通常は変更する必要がありませんので、そのままご使用下さい。



回転スイッチの「0」は使用出来ません。（1～3）

（注意）設定変更の際は子機との動作確認を十分に行って下さい。

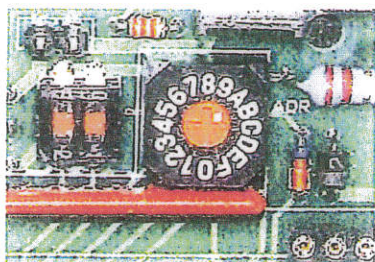
3. (受信機側) の設定。

① アドレス (子機ナンバー) の設定。

接続端子を上にした状態で、基板を見ますと、アドレス用の回転スイッチ「ADR」と受信モジュールの下にあるグループ用スライドスイッチがあります。

アドレス設定用の回転スイッチは、子機の番号となります。主に子機のアドレス (子機ナンバー) の変更や、子機の増設時に使用します。

子機のナンバー (アドレス) は、「1~15・16」(1~F・0) 迄の使用です。



写真の表示は「A」つまり子機ナンバーは「10」となります。

「F」の場合子機ナンバーは「15」となります。

「0」の場合子機ナンバーは「16」となります。

(注意) 設定変更の際は十分な動作確認をして下さい。

* 子機のナンバー (アドレス) が、ロータリースイッチで簡単に変更出来ます。

同一のナンバーの子機をいくつでも設定出来、制限はありません。

尚、「ADR」回転スイッチの左にあるスイッチは、親機と連動していますので、納品時の設定のまま御使用ください。むやみに他の設定にしますと通信出来なくなりますので注意して下さい。

オプション (子機の受注生産品)

1. AC100v500w迄のコントロール

AC100V ラインの「オン」、「オフ」子機ユニット。
機材の電源オン・オフ制御。
特注品となります。

2. ナンバーコード出力

1～16から1～99までのバイナリコード出力。
アイソレート出力。15ピン D-SUB 出力。
親機のソフトの変更あり。
特注品となります。

3. 以外の特注品。